

「花鼓SaaS」「フルーエントーク」「リズムカルトーク」ご利用者様向け
および周波数調整器単体でのご利用者様向け

周辺機器の 接続と設定方法

2025年12月24日改訂



目次

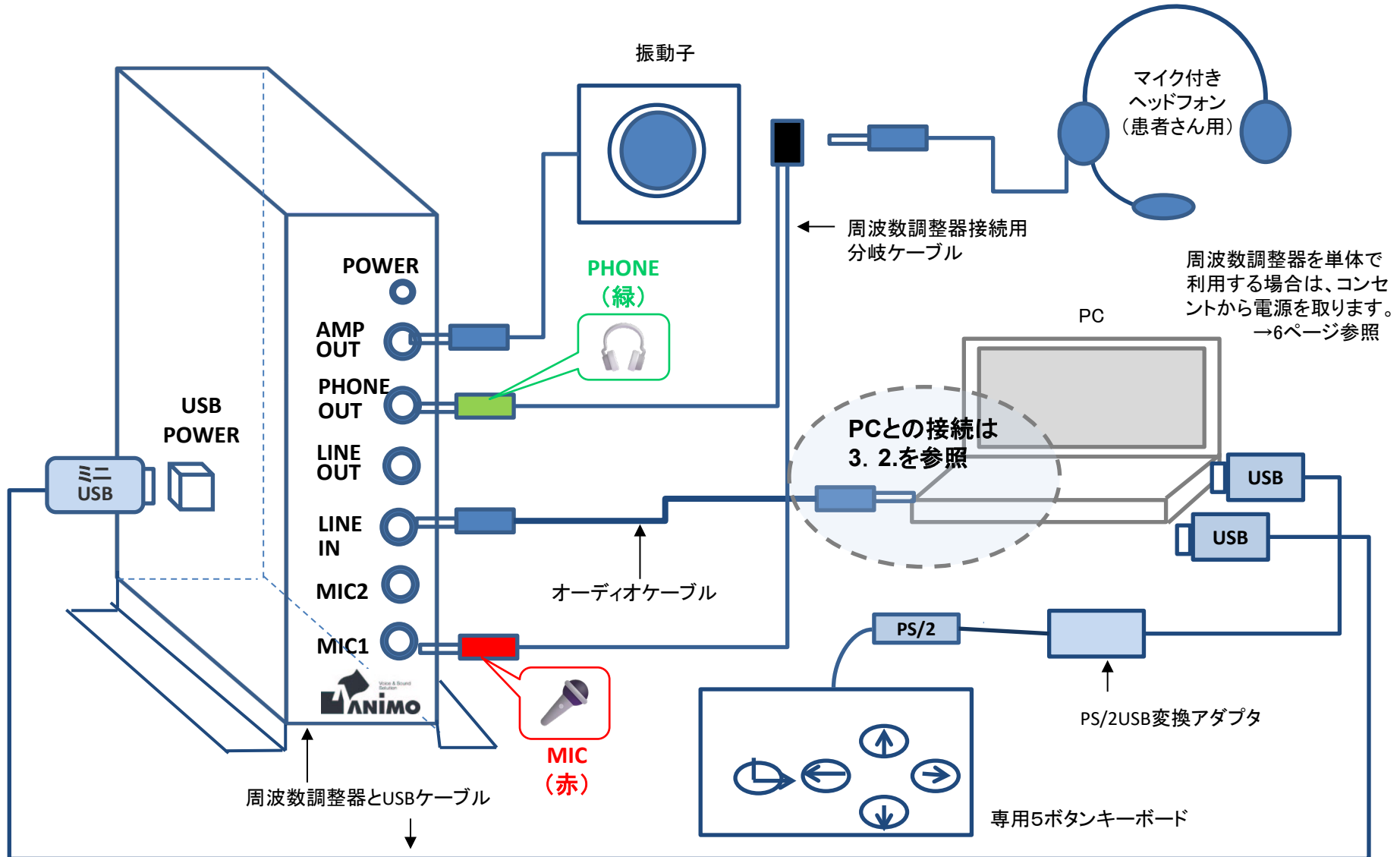
1. PCの動作環境	p.3
2. 接続図	
2. 1. 基本の接続図	p.5
2. 2. 接続図 応用例 (マイク付きヘッドフォン2個使用)	p.6
2. 3. 接続図 応用例 (マイク付きヘッドフォン1個とスピーカー使用)	p.7
2. 4. 周波数調整器に接続するもの(まとめ)	p.8
3. 接続方法 詳細	
3. 1. 接続方法 周波数調整器と電源	p.9
3. 2. 接続方法 周波数調整器とPC	p.11
3. 3. 接続方法 マイク付きヘッドフォンと周波数調整器接続用分岐ケーブル ..	p.13
3. 4. 接続方法 周波数調整器と周波数調整器接続用分岐ケーブル	p.14
3. 5. 接続方法 周波数調整器と振動子	p.17
3. 6. 接続方法 専用5ボタンキーボードとPC	p.18
4. 周辺機器接続後の設定	
4. 1. 周辺機器接続後の設定 ゲイン設定	p.20
4. 2. 周辺機器接続後の設定 再生音量調整	p.21
4. 3. 周辺機器接続後の設定 録音音量調整	p.22
4. 4. 周辺機器接続後の設定 USBドライバ正常登録確認	p.23

1. PCの動作環境

PCを使って周波数調整器の設定を行う場合、
花鼓SaaS・フルーエントーク・リズムカルトークと周波数調整器を連動させて利用する場合は、
下記の要件を満たしたPCをご準備ください。

OS	Windows® 10/11 (64bit)
CPU	Intel® Core i3以上推奨 または同等性能の互換CPU
メモリ	4GB以上推奨
HDD	空き容量20GB以上
推奨サウンド機能	<ul style="list-style-type: none">音声再生/録音に対応したものヘッドホン出力の差込口、またはマイク入力・ヘッドホン出力兼用の4極差込口があること
その他	<ul style="list-style-type: none">インストール時にCD-ROMドライブを使用します。周波数調整器、専用5ボタンキーボードはそれぞれUSBポートを使用します。

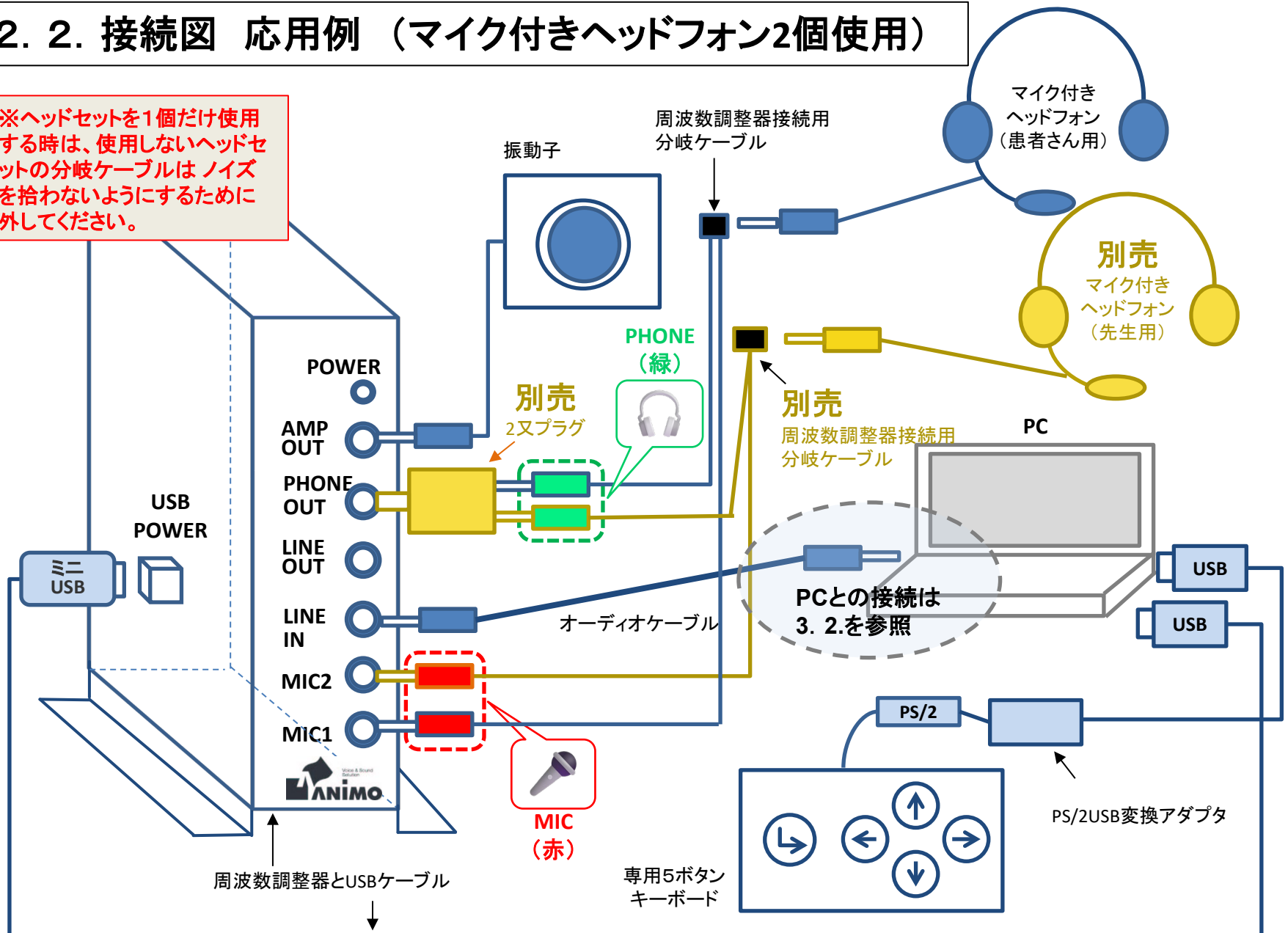
2.1. 基本の接続図



それぞれの具体的な接続方法は、3章で解説します。

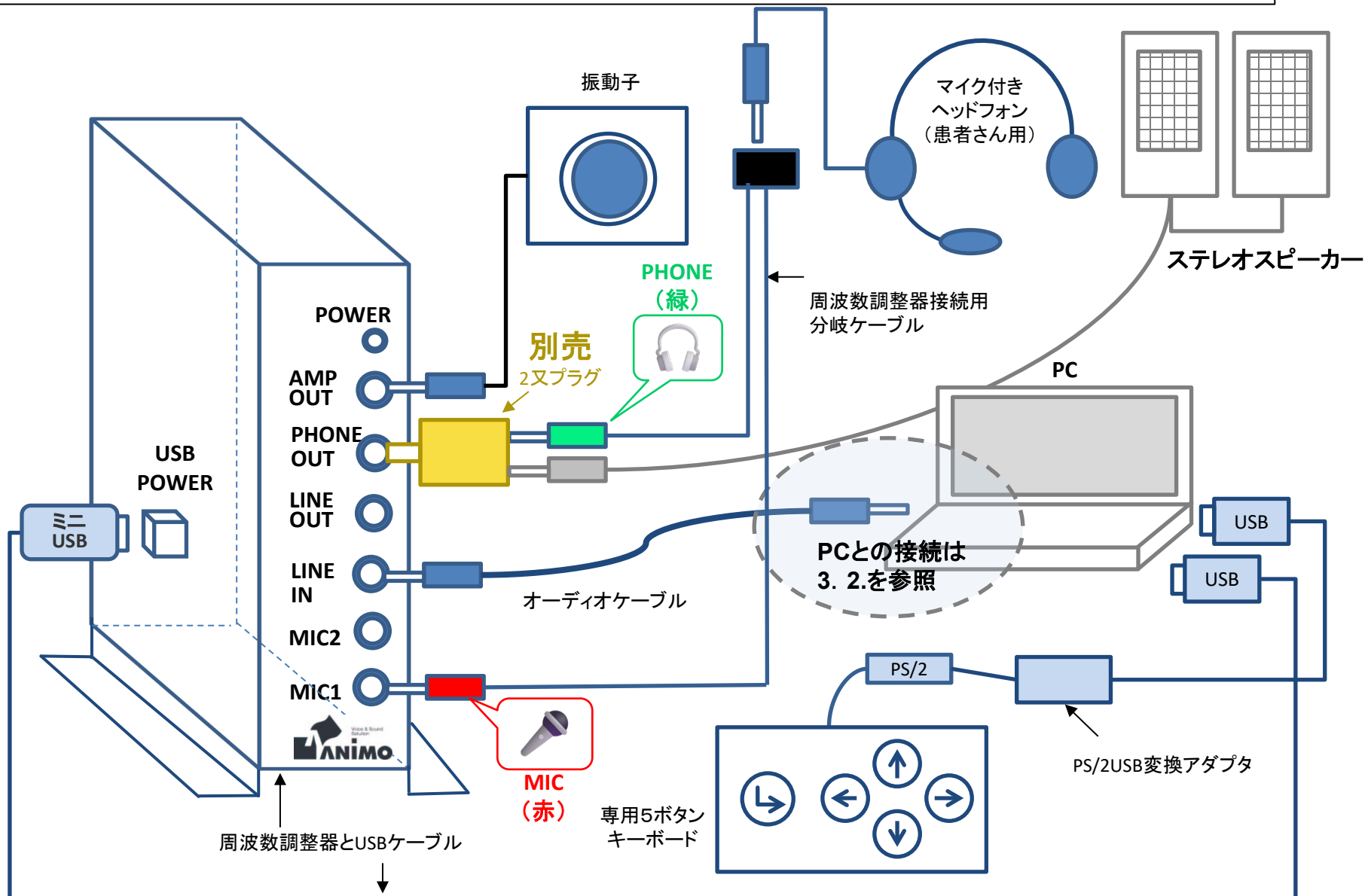
2. 2. 接続図 応用例（マイク付きヘッドホン2個使用）

※ヘッドセットを1個だけ使用する時は、使用しないヘッドセットの分岐ケーブルはノイズを拾わないようにするために外してください。



それぞれの具体的な接続方法は、3章で解説します。

2. 3. 接続図 応用例（マイク付きヘッドフォン1個とスピーカー使用）



それぞれの具体的な接続方法は、3章で解説します。

2.4 周波数調整器(アニモロゴ側)に接続するもの(まとめ)



	2.1. 基本の接続 図	2.2. 応用例 マイ ク付きヘッドホン2 個使用	2.3. 応用例 マイク 付きヘッドホンとス ピーカー使用
AMP OUT	振動子	振動子	振動子
PHONE OUT	周波数調整器接続 用分岐ケーブルの イヤホンジャック (緑)	2又プラグ ※2又プラグに周波数調 整器接続用分岐ケーブ ルのイヤホンジャック(緑) 2つを繋ぎます。	2又プラグ ※2又プラグに周波数調 整器接続用分岐ケーブ ルのイヤホンジャック(緑)とスピー カーのジャックを繋ぎます。
LINE OUT	このジャックには何も接続しません		
LINE IN ※	オーディオケーブ ル	オーディオケーブ ル	オーディオケーブル
MIC2		周波数調整器接続 用分岐ケーブルの マイクジャック(赤)	
MIC1	周波数調整器接続 用分岐ケーブルの マイクジャック(赤)	周波数調整器接続 用分岐ケーブルの マイクジャック(赤)	周波数調整器接続 用分岐ケーブルのマ イクジャック(赤)

※PCの動きと連動させない(周波数調整器を単体で利用する)場合は、LINE INにオーディオケーブルを差し込む必要はありません。

各機器の接続について詳しく知りたい方は、次の章をご覧ください。

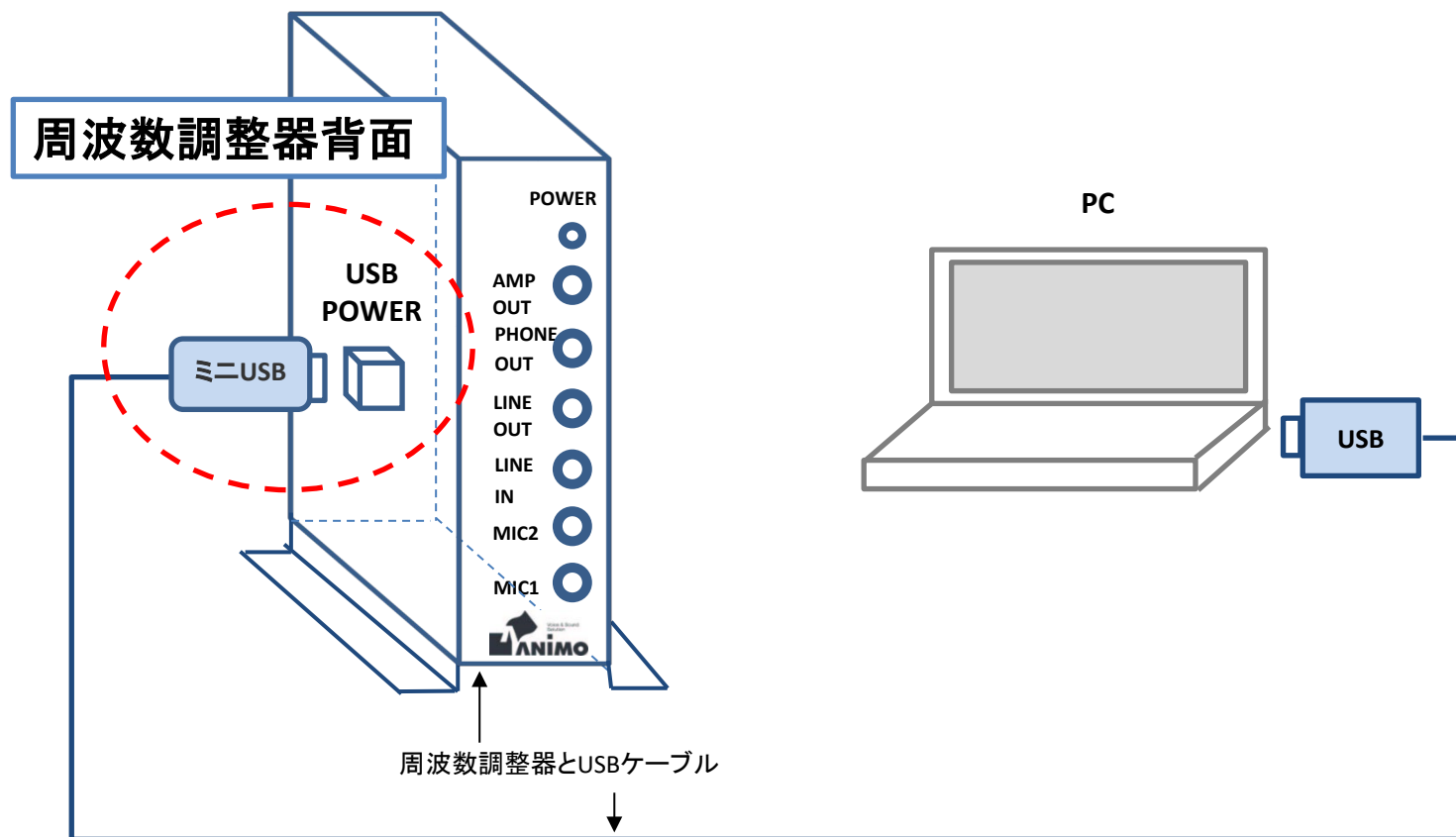
3. 接続方法 詳細

- 3. 1. 接続方法 周波数調整器と電源 p.9
- 3. 2. 接続方法 周波数調整器とPC p.11
- 3. 3. 接続方法 マイク付きヘッドフォンと周波数調整器接続用分岐ケーブル・・・ p.13
- 3. 4. 接続方法 周波数調整器と周波数調整器接続用分岐ケーブル..... p.14
- 3. 5. 接続方法 周波数調整器と振動子 p.17
- 3. 6. 接続方法 専用5ボタンキーボードとPC p.18

3. 1. 接続方法 周波数調整器と電源

① PCと連動させて使う場合

- 1) 周波数調整器の[USB POWER]に、USBケーブルのミニUSBプラグを差込みます。
- 2) USBケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSBポートに差し込みます。周波数調整器の電源はパソコンから供給されます。

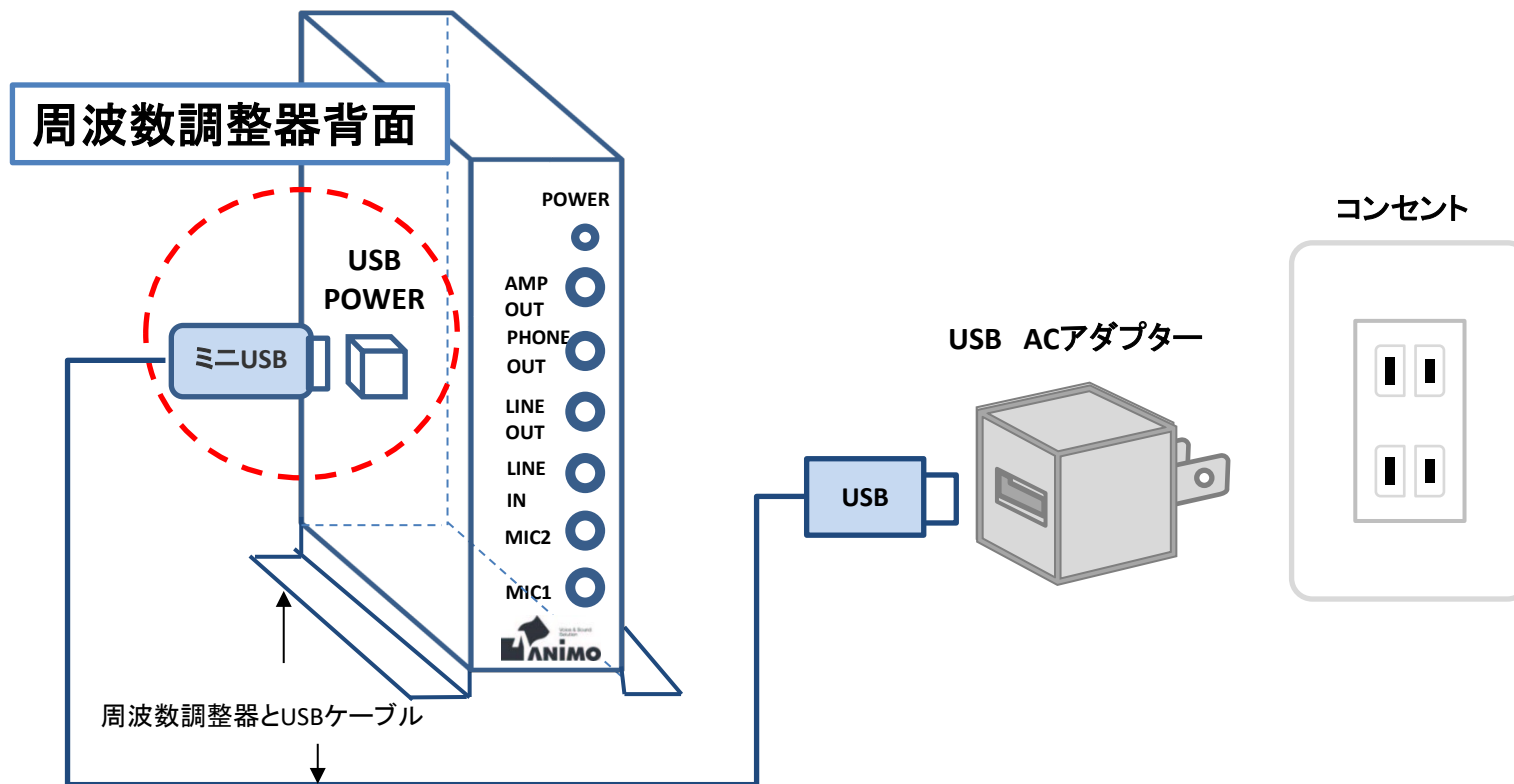


② 周波数調整器単体で使う場合

市販のスマートフォン用ACアダプターなどでコンセントに接続してください。
※次の要件を満たすACアダプターがご利用いただけます。

- 電圧: DC5V±10%
- 電流容量: 200mA 以上

- 1) 周波数調整器の[USB POWER]に、USBケーブルのミニUSBプラグを差込みます。
- 2) USBプラグを、USB ACアダプターに差し込みます。
- 3) USB ACアダプターをコンセントに差し込みます。



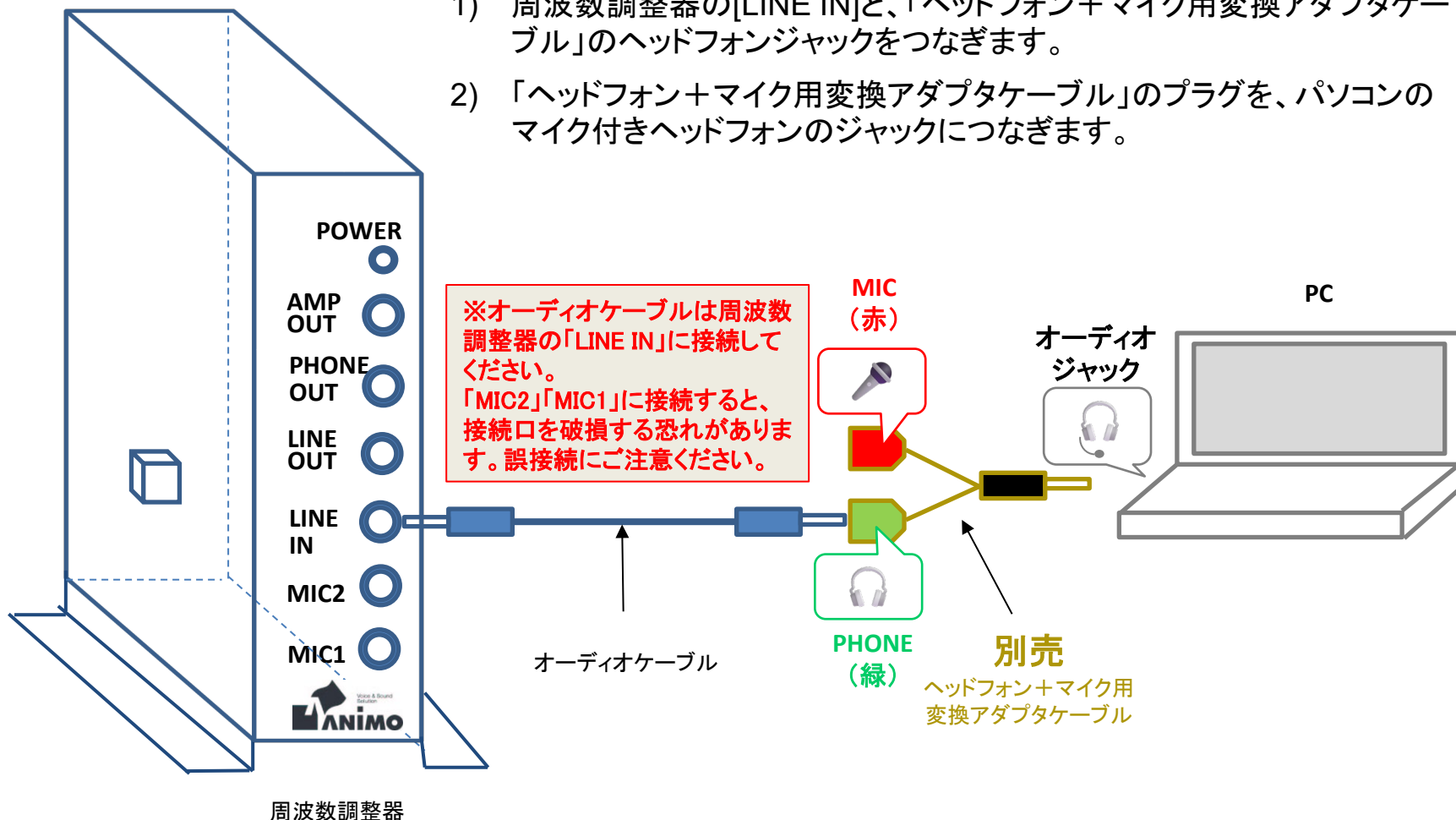
3. 2. 接続方法 周波数調整器とPC

① PCのオーディオジャックが1つの場合

PCのオーディオジャックが、マイク付きヘッドフォンのマークのもの1つの場合は、オーディオケーブルで下記のように接続します。

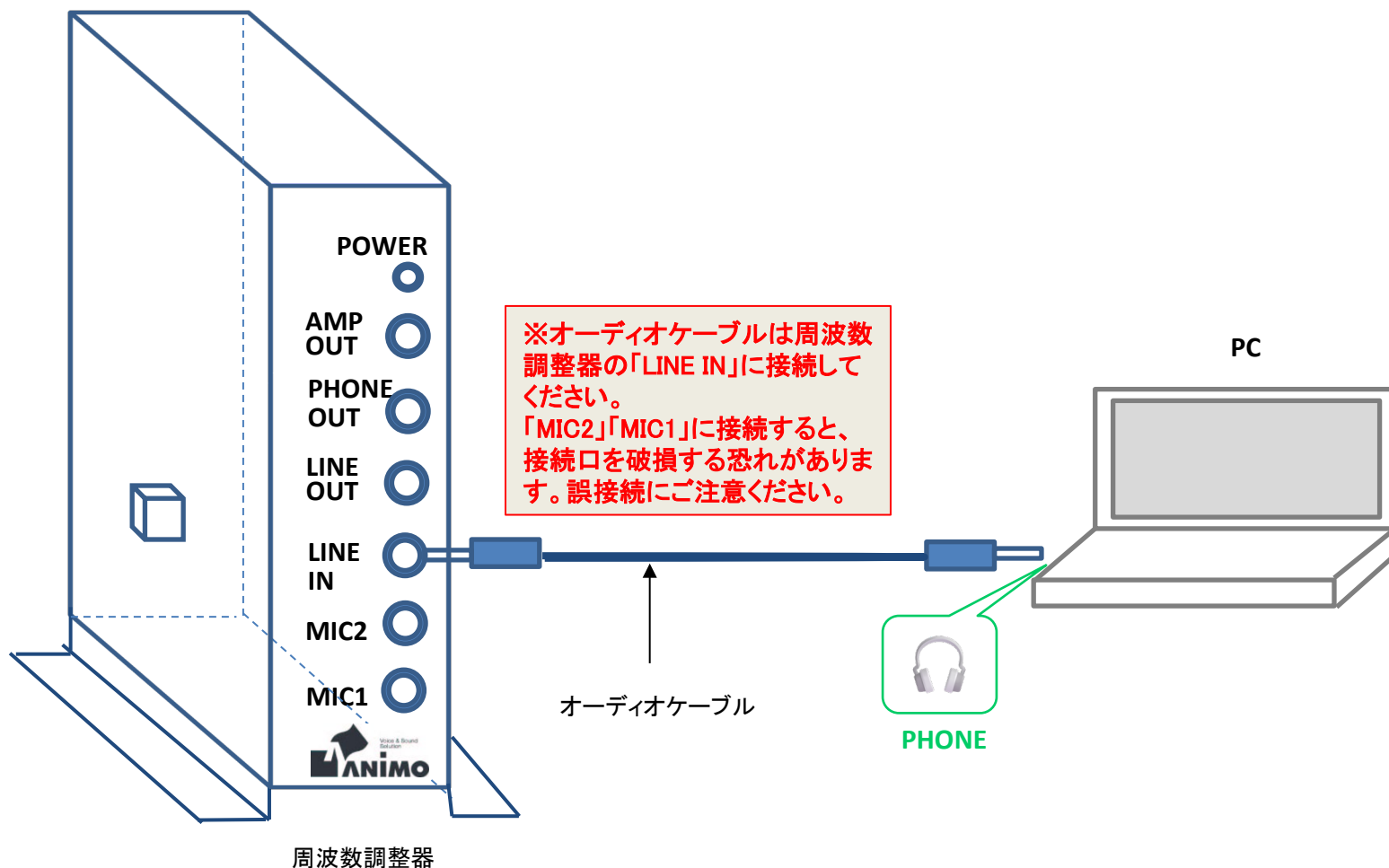
※別売の「ヘッドフォン+マイク用変換アダプタケーブル」が必要となります。

- 1) 周波数調整器の[LINE IN]と、「ヘッドフォン+マイク用変換アダプタケーブル」のヘッドフォンジャックをつなぎます。
- 2) 「ヘッドフォン+マイク用変換アダプタケーブル」のプラグを、パソコンのマイク付きヘッドフォンのジャックにつなぎます。



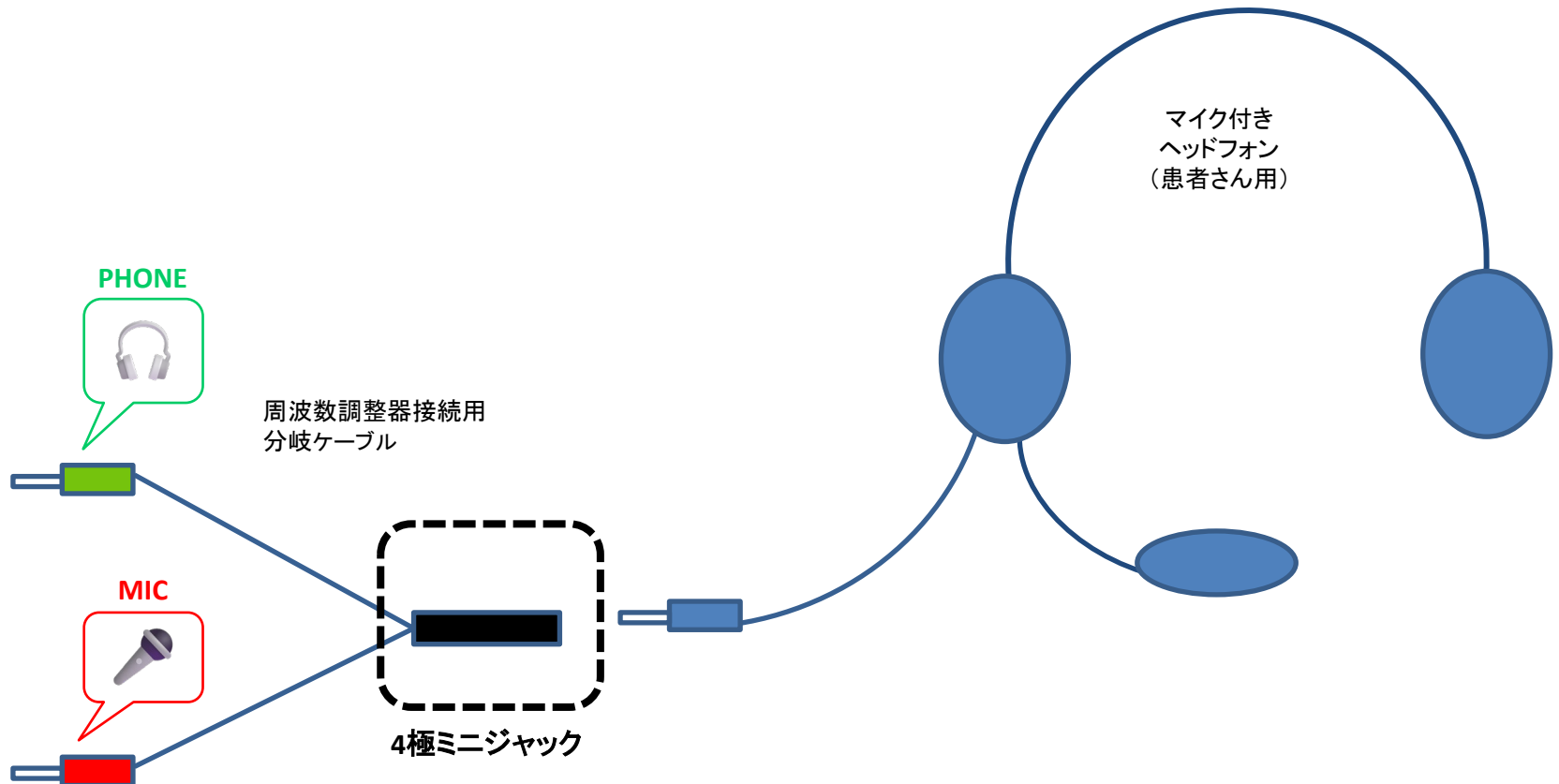
② PCにPHONEジャック (ヘッドホンマーク)とMICジャック(マイクマーク)が別々にある場合
オーディオケーブルで下記のように接続します。

1) 周波数調整器の[LINE IN]と、PCのPHONEジャック(ヘッドホンマーク)をつなぎます。



3. 3. 接続方法 マイク付きヘッドフォンと周波数調整器接続用分岐ケーブル

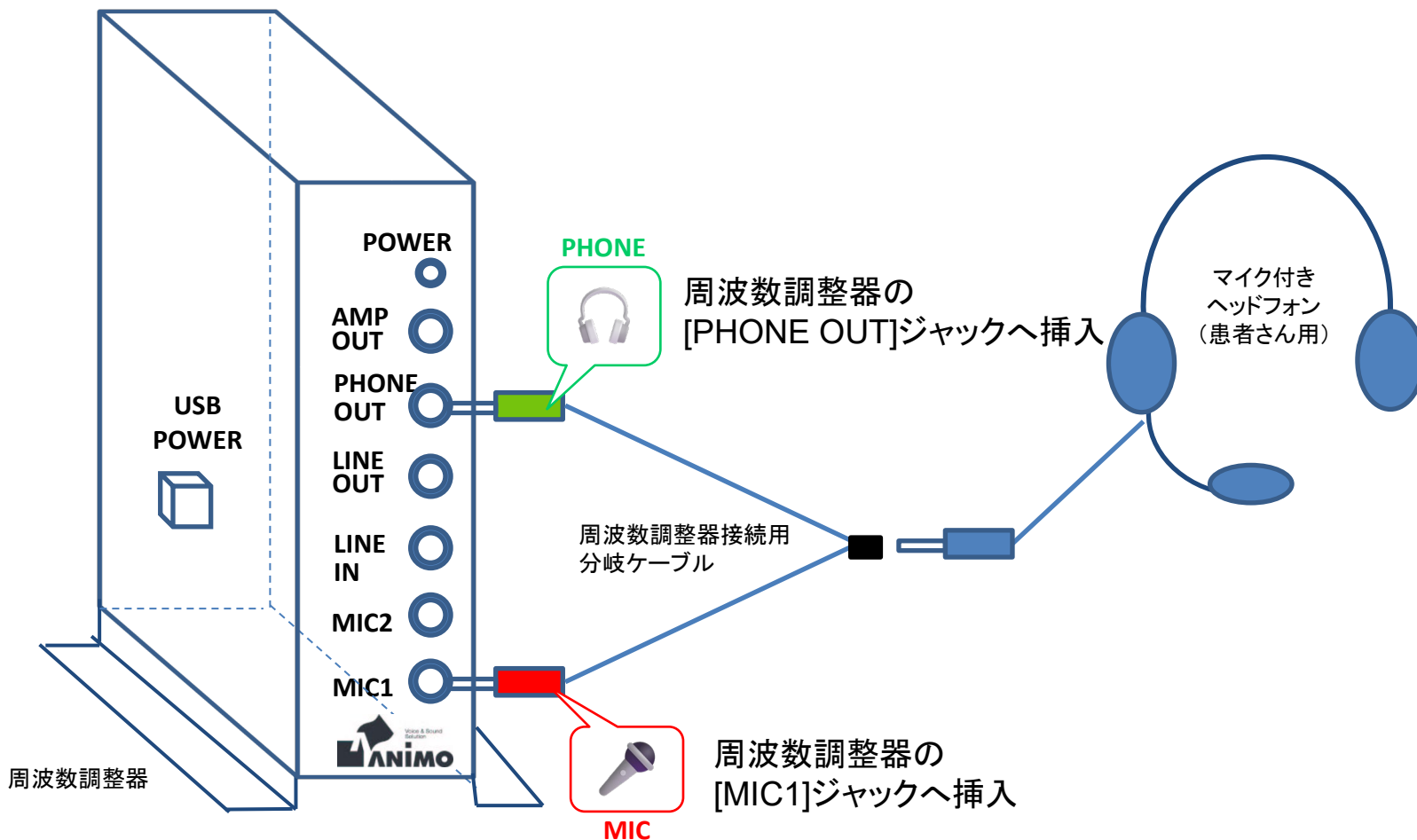
マイク付きヘッドフォンに付いているケーブルを周波数調整器接続用分岐ケーブルの4極ミニジャック(黒)につなぎます。



3. 4. 接続方法 周波数調整器と周波数調整器接続用分岐ケーブル

① マイク付きヘッドフォン1個の場合

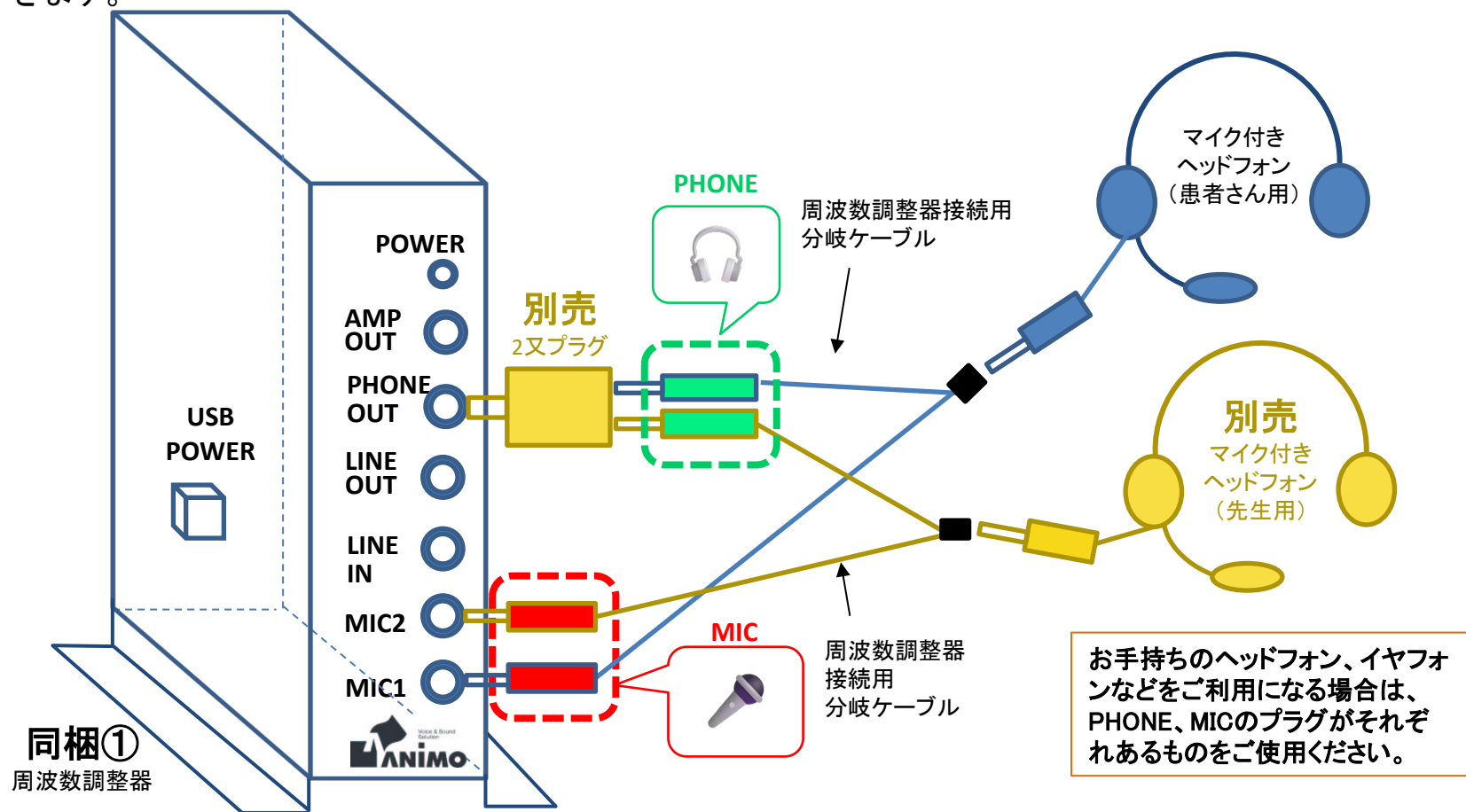
- 1) 周波数調整器の[PHONE OUT]に、周波数調整器接続用分岐ケーブルの緑(ヘッドフォン)のプラグをつなぎます。
- 2) 周波数調整器の[MIC1]に、周波数調整器接続用分岐ケーブルの赤(マイク)のプラグをつなぎます。



② マイク付きヘッドフォン2個の場合

周波数調整器のPHONE OUTジャックは1つのみです。マイク付ヘッドフォンを2個(訓練者用+ST用)つなぐ場合は、別売りの2又プラグをご使用ください。

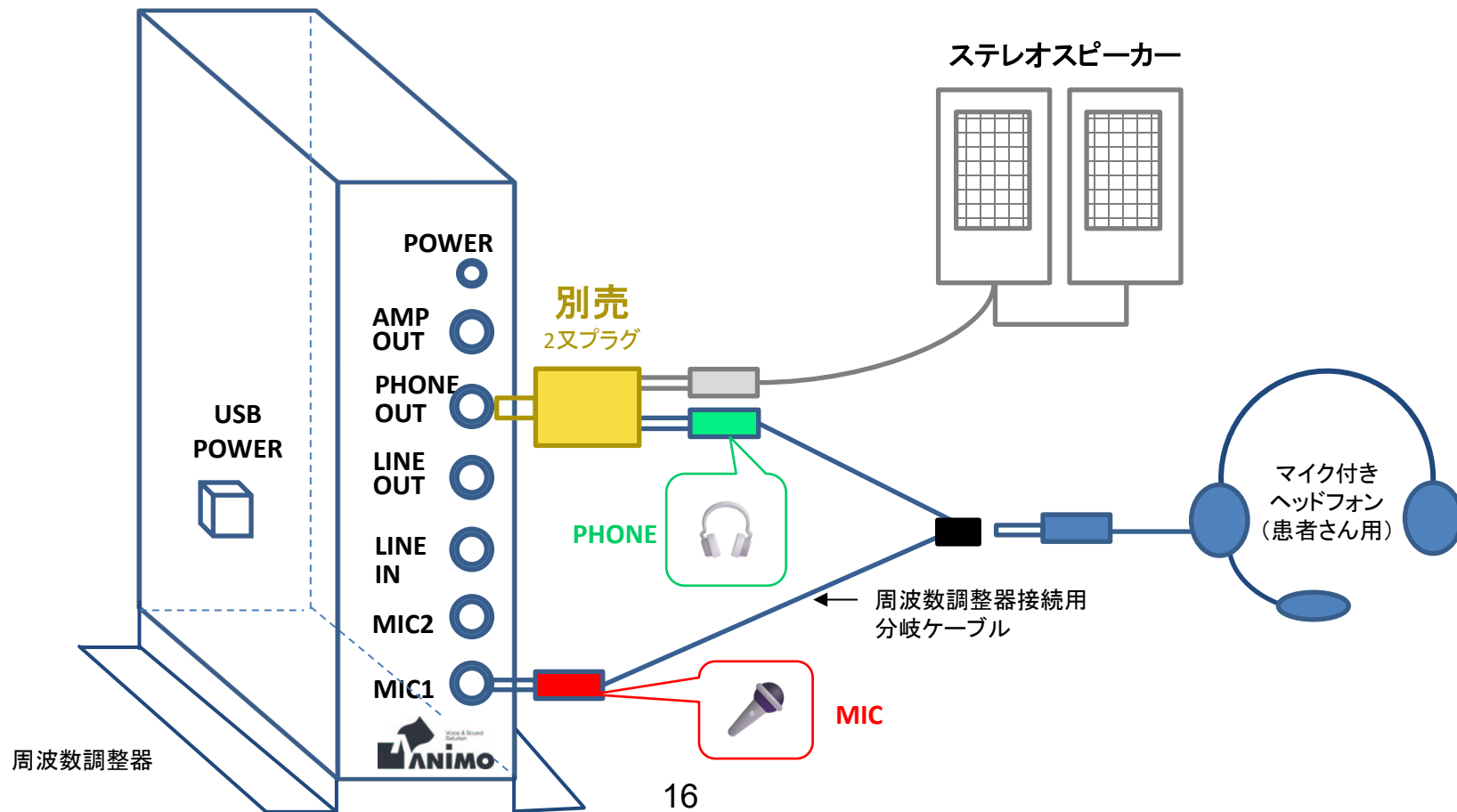
- 1) 周波数調整器の[PHONE OUT] に、2又プラグをつなぎます。
- 2) 2又プラグに、各周波数調整器接続用分岐ケーブルの緑(ヘッドフォン)のプラグをつなぎます。
- 3) 周波数調整器の[MIC1]、[MIC2]に、各周波数調整器接続用分岐ケーブルの赤(マイク)のプラグをつなぎます。



③ マイク付きヘッドフォン1個とスピーカーを使用する場合

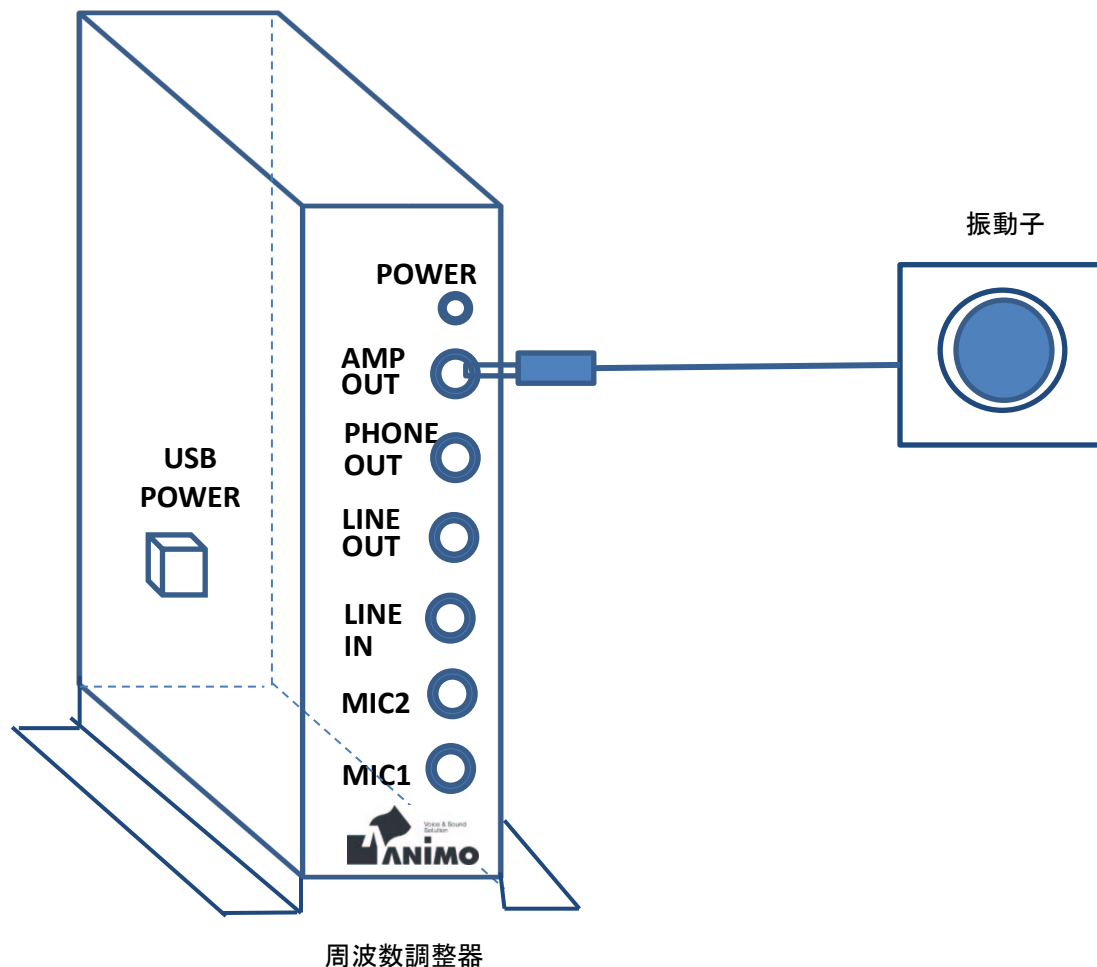
周波数調整器のPHONE OUTジャックは1つのみです。マイク付ヘッドフォンとスピーカーをつなぐ場合は、別売りの2又プラグをご使用ください。

- 1) 周波数調整器の[PHONE OUT]に、2又プラグをつなぎます。
- 2) 2又プラグの一方に、周波数調整器接続用分岐ケーブルの緑(ヘッドフォン)のプラグをつなぎます。
- 3) 2又プラグのもう一方に、スピーカーのプラグをつなぎます。
- 4) 周波数調整器の[MIC1]に、周波数調整器接続用分岐ケーブルの赤(マイク)のプラグをつなぎます。



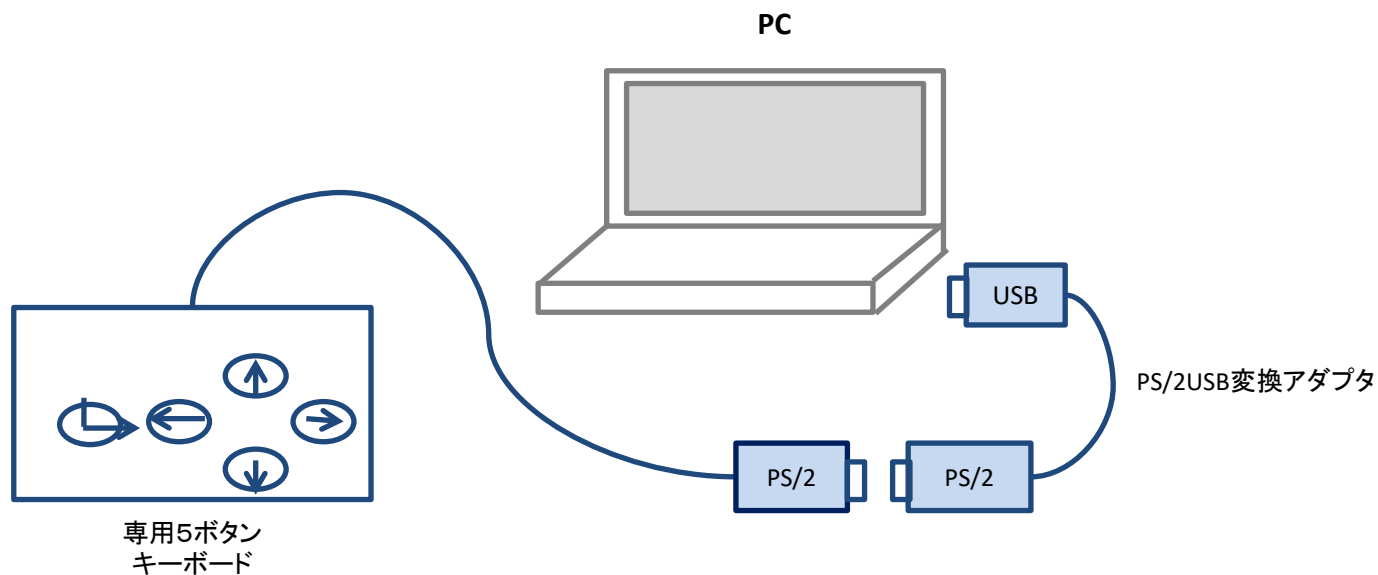
3. 5. 接続方法 周波数調整器と振動子

周波数調整器の[AMP OUT]に、振動子のプラグをつなぎます。



3. 6 接続方法 専用5ボタンキーボードとPC

同梱の専用5ボタンキーボードは「PS/2」タイプのコネクタに対応しています。
お手持ちのパソコンに「PS/2」端子(丸いコネクタ)がない場合には同梱⑤のPS/2 USB変換アダプターをお使い下さい。



接続方法はここまでです。

周波数調整器をPCと連動させてお使いいただくには、周波数調整器付属のソフトウェアのインストールが必要です。

下記の説明書を参照してください。

- 「周波数調整器ANM-G2000取扱説明書」

次ページからはPCでの周波数調整器の設定方法についてご説明します。

4. 1. 周辺機器接続後の設定 ゲイン設定

下記の手順により、周波数調整器のライン及びマイクの基本ゲイン設定を行って下さい。

①PCデスクトップ上にインストールされた[ゲイン設定アイコン]をクリックしてください。



②下図1のような画面が表示されますので、「ライン入力ゲイン(L)」および「マイク入力ゲイン(M)」を各々“9”程度に設定し、[OK]をクリックして下さい。(下図2参照)

※振動子の最大振動幅(出力)とヘッドセットのマイクゲインはこの画面の設定で決まります。ゲインを上げすぎるとハウリングを起こしますのでご注意ください。

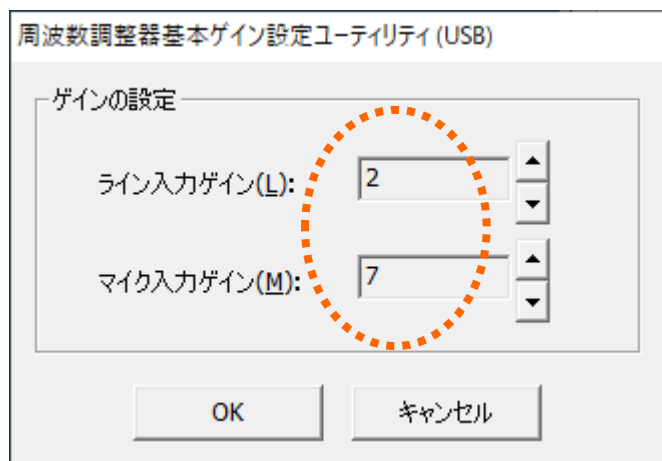


図1 デフォルト設定

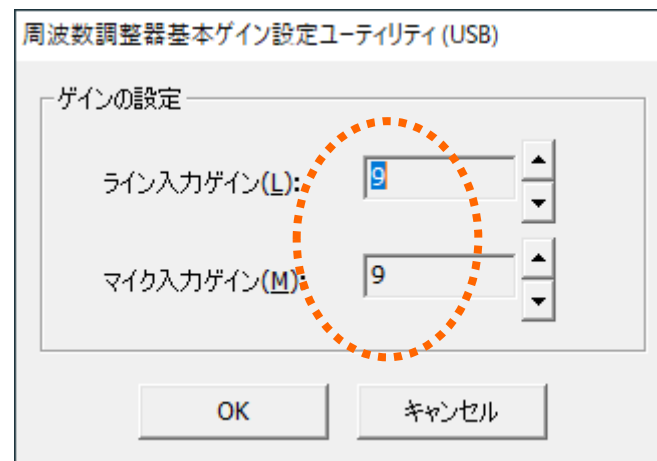
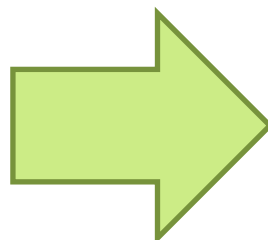


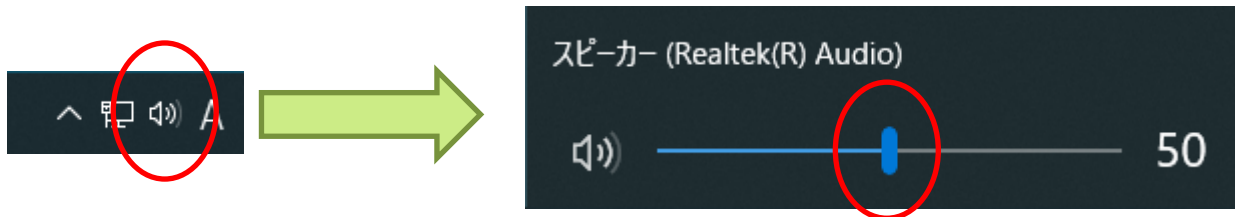
図2 最適設定

4. 2. 周辺機器接続後の設定 再生音量調整

～～再生音量調整の最適な設定方法～～

1. PCから出力する音は出来るだけ大きくして下さい。
2. ヘッドセットの音量調整は、音を適切な音量に下げるためにお使い下さい。

- ①画面右下のスピーカーの絵をクリックし、スピーカーの音量を調節します。
※出来るだけ大きくして下さい。
(振動子から聞こえる音が割れない範囲で最大にして下さい。)



- ②ヘッドセット側の音量調整ダイヤルは最大の1/2以下を目安に、大きすぎる音を絞る目的でのみお使い下さい。

4. 3. 周辺機器接続後の設定 録音音量調整

～～音声日記の録音音量調整の最適な設定方法～～

1. PCへ出力される音は出来るだけ小さくして下さい。
2. しゃべる時は、マイクを口元に近づけて下さい。

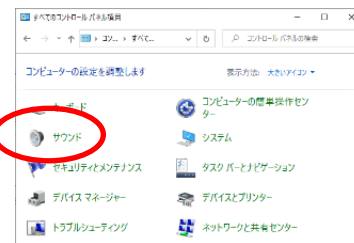
① 録音タブを開く

Windows のスタートボタンから「Windows システムツール」→「コントロールパネル」を選択します。

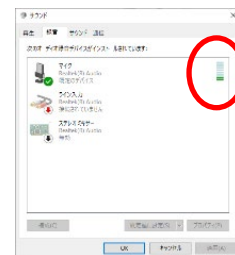
- 1) 表示方法がカテゴリの場合：「ハードウェアとサウンド」→「サウンド」
- 2) アイコンの場合：「サウンド」
- 3) 「サウンド」ウィンドウの「録音」タブを選択します。マイクで話すとボリュームレベルが表示されます。



1) コントロールパネル
カテゴリ表示



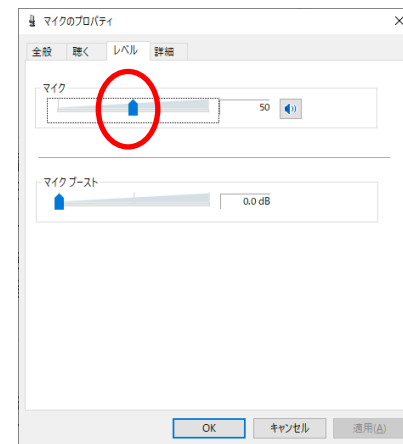
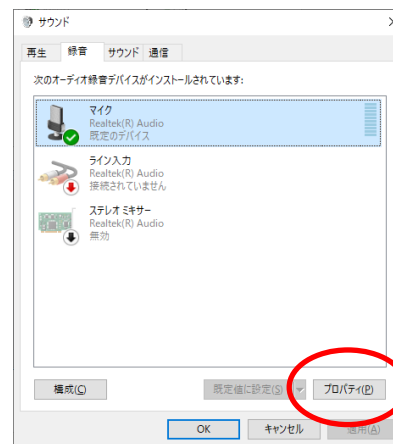
2) コントロールパネル
アイコン表示



サウンド 録音タブ

② 録音ボリュームの調節

- 1) 録音ボリュームを調節するには、マイクが接続されているデバイスのアイコンを選択して、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 2) マイクのプロパティの「レベル」タブを選択します。つまみを移動して、マイクの音量を小さめに設定し、OKボタンを押します。(大きく設定しますと、呼吸音や、周囲の雑音が入り込んでしまい、録音データが聞きづらくなります。)



③製品に同梱のヘッドセットに添付のマイクは指向性が高くなっておりますので、話す時にはマイクを口元に近づけて下さい。より明瞭に録音されます。

4. 4. 周辺機器接続後の設定 USBドライバ正常登録確認

① 正常登録確認

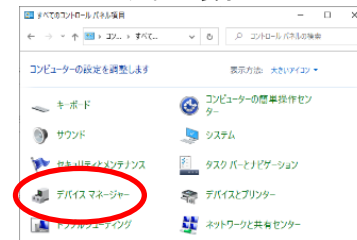
Windows のスタートボタンから「Windows システムツール」→「コントロールパネル」を選択します。

下記の方法でデバイスマネージャーの画面を開きます。

1) コントロールパネル
カテゴリ表示



2) コントロールパネル
アイコン表示



1) 表示方法がカテゴリの場合: 「ハードウェアとサウンド」
→「デバイスマネージャー」

2) アイコンの場合: 「サウンド」→「デバイスマネージャー」

デバイスマネージャーの画面が開きます。

図1の赤く囲んであるところが正常にインストールされている状態を示しています。

Jungoの下にDEVICEとwindrvr6が表示されていればUSBドライバが正常登録されたこととなります。(図1参照)

※正常登録確認をする際は、周波数調整器とパソコンがUSBケーブルで接続された状態で行ってください。

② ドライバーリセット方法

周波数調整器のUSB接続ケーブルを一度外した後に、改めて接続して下さい。(図2参照)

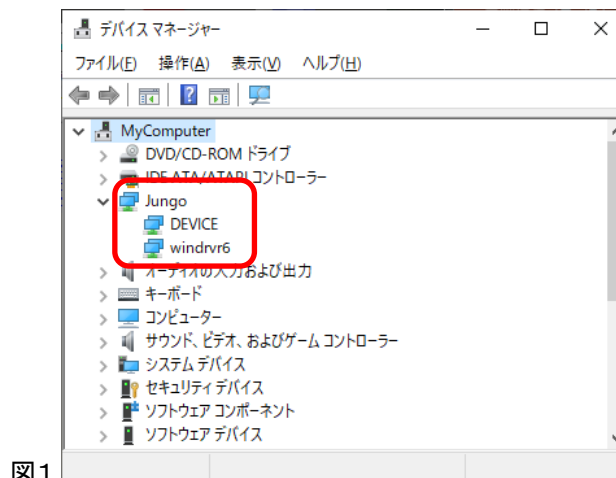


図1



図2

失語症リハビリ言語訓練支援Webサービス『花鼓SaaS』
吃音克服訓練支援Webサービス『Fluent talk（フルーエントーク）』
認知症予防言語訓練支援Webサービス『Rhythmical Talk（リズムカルトーク）』

監修：道関京子 先生

新潟リハビリテーション大学大学院 教授（リハビリテーション研究科）
日本全体構造臨床言語学会理事長
言語聴覚士

企画・制作・販売：株式会社アニモ

お問合せ先： **株式会社アニモ**

Tel. 045-663-8640

Fax. 045-663-8627

〒231-0015 横浜市中区尾上町1-6 ICON関内5F

URL: <https://www.animo.co.jp/>